

## インターバンクの声（2016年5月13日）

毎朝、出勤して直ぐに金融情報サービスや経済紙電子版をチェックして、社内メールからロンドン市場以降の市場の値動きを見直すことになるが、やはり一番頼りになるのが社内のニューヨーク時間担当の同僚から直接聞く情報だ。今日もメディアには、日銀が6月に追加緩和に踏み切るとの観測が円安に大きく影響したとの情報もあれば、原油価格の変動や米金利の動きに影響されたなど様々な解説が出ているが、同僚の「昨夜は原油価格の上下動や株価の変化とドル円の値動きがほとんど一致していました」との一言で、昨夜の市場の全体像がほぼ見えて来る。アメリカの大統領選挙もトランプ氏が共和党の指名候補になることでほぼ決まりのようだ。ただ、これは予備選挙の結果で仕方ないかも知れないが、ニューヨークにいる昔の同僚や友人を含め、彼らの周囲ではトランプ氏支持は皆無らしい。トランプ氏支持の中心は、所得格差に大きな不満を抱いている白人層だ。その格差是正のため所得移転政策を進めると約束しているので支持を集めているのだが、彼が大統領になって果たして約束を守るのだろうか。現実を見てから失望するのはよくあることだが、こうしたトランプ氏支持層の人たちも、正しい情報を持たなければ、あとでとんでもない付けが回って来ることになるだろう。

---

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。